

いのちの願い、市政にとどける



# くらくら 共た

市会 日本共産党  
市会議員

わたしは、市議員として12年間、いのちが何よりも大切にされる政治を信条に、みなさんと共に歩んできました。

わたしは、上京区で看護師として21年間働くなかで、お金がなければ、必要な医療も介護も受けられない実態に直面してきました。

「いのちの格差は許さない」これが、わたしの原点です。高すぎる国保料を引き下げ、安心して医療が受けられるよう全力でがんばります。

プロフィール：市議員3期。現在、経済総務委員、京都市都市計画審議会委員。1960年生まれ、54歳。京都府南丹市日吉町出身。府立園部高校、府医師会看護専門学校卒業。山根診療所、上京病院勤務、ケアマネジャー、訪問看護ステーション所長歴任。趣味は、和装着付け・バレエ・エアロビクス。家族は夫（建築士）と2人の息子。

## かけがえのない子どもたちのいのちを守ります。

保育園で、子どものいのちが失われる痛ましい事故が起こりました。真相を明らかにして、子どもたちの安全が守れるようにしたいと思います。

「安心して子育てしたい」——お母さんたちの願いにこたえる、子どもの医療費無料化、マンモス学童を解消し、学区にひとつの学童保育所の実現、小・中学校の30人学級の前進を目指してがんばります。



市立幼稚園の  
アスベストの  
完全除去実現

当初、教育委員会の幹部は「問題はない」としていましたが、議会で追及し、除去工事を実施させることができました。これからも、いのち第一でがんばります。

## 伝統産業と商店街の振興にがんばります。

上京区選出の市議員として一貫して、京都の歴史と伝統・文化を守るために、みなさんと一緒にがんばってきました。

伝統産業や中小企業・商店街が元気になってこそ、安心してらせるまちづくりにつながります。消費税10%増税に反対はもちろん、地元の中小業者の仕事を増やし、商売しやすい環境づくり、支援策に全力を尽くします。

9月、市議会の代表として、第14回世界歴史都市会議に参加しました。わたしは、今回の交流を通じて学んだことを、地場産業の発展に繋げていきたいと思っています。



世界歴史都市会議にて

暴走政治  
ストップ！

いづれも私たちの未来に、戦争も核もない世界を！